

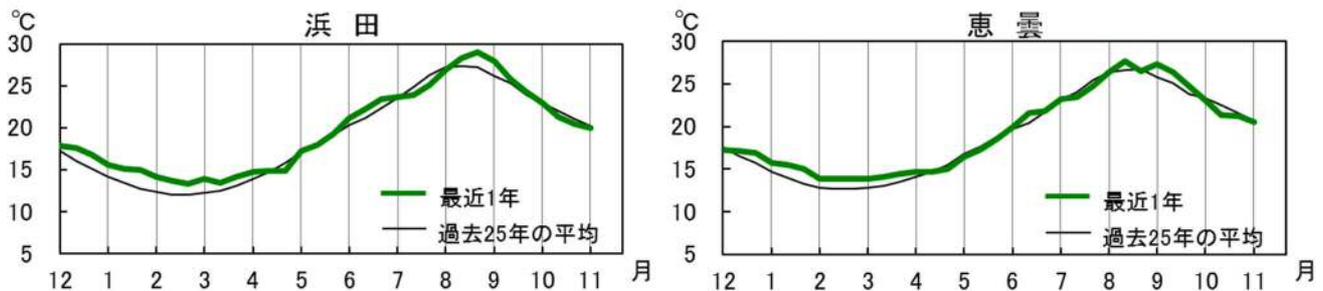


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《10月の海況》



10月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	21.5°C	-0.5°C	平年並み	21.9°C	-0.9°C
中旬	やや低め			かなり低め		
下旬	やや低め			平年並み		

## 《10月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類、カタクチイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は9.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは99トンで平年の5割、サバ類は32トンで平年の2割、カタクチイワシは13トンで平年の27倍でした。隠岐地区ではブリ、ウルメイワシ、カタクチイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は40.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは2,410トンで平年の5.2倍、ウルメイワシは947トンで平年並み、カタクチイワシは759トンで平年の7割でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の83%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.5kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は62.3kgで平年並みでした。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアナゴ・ハモ類、ソウハチ、キダイ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は16.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アナゴ・ハモ類は平年の1.5倍、ソウハチは平年の3.0倍、キダイは平年の8割でした。その他、ヤリイカは平年の8.8倍、イボダイは平年の5.8倍、マトウダイは平年の1.6倍、アンコウは平年の1.2倍、マダラは平年の7.3倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の7割、マアジは平年の7割の水揚げに留まりました。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアンコウ、ソウハチ、ヤリイカ主体の漁況で、総漁獲量は433トンでした。1統1航海当りの漁獲量は979kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウは平年の1.8倍、ソウハチは平年の1.1倍、ヤリイカは平年の2.1倍でした。その他、ムシガレイは平年の1.2倍、マトウダイは平年の1.3倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類およびアカムツは平年の1.0倍、キダイは平年の6割、ニギスは平年の7割、マダラは平年の4割の水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、シイラ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は32.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.9倍、ブリは9割、シイラは6.4倍でした。石見地区ではサワラ類、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は17.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.5倍、マアジは6割でした。隠岐地区ではブリ、ウルメイワシ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は10.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍、ウルメイワシは4割、マアジは8割でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.2倍でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年並みでした。隠岐地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.0kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年並みでした。

※10月号の訂正：【釣・縄】隠岐地区の1航海当りの漁獲量は16.1kgで平年並み⇒平年を下回りました

## 【令和2年10月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類、カタクチイワシ	203トン	34%	53%	9.6トン	39%	57%	▲
	隠岐	ブリ、ウルメイワシ、カタクチイワシ	4,884トン	107%	65%	40.7トン	100%	65%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.3トン	335%	0.4%	20.5kg	134%	11%	▲
	西郷	スルメイカ	1.4トン	7967%	27%	62.3kg	1039%	126%	○
沖合 底びき網	浜田	アナゴ・ハモ類、ソウハチ、キダイ	315トン	97%	107%	16.6トン	118%	119%	◎
小型 底びき網	大田	アンコウ、ソウハチ、ヤリイカ	433トン	100%	102%	979kg	118%	121%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ、シイラ	426トン	143%	109%	32.8トン	143%	109%	○
	石見	サワラ類、マアジ	72トン	186%	63%	17.9トン	139%	62%	▲
	隠岐	ブリ、ウルメイワシ、マアジ	61トン	108%	52%	10.5トン	108%	52%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類	20.1トン	85%	46%	17.9kg	73%	66%	▲
	石見	ヒラマサ	22.1トン	79%	60%	15.1kg	80%	70%	▲
	隠岐	クロマグロ	21.2トン	96%	70%	19.0kg	94%	82%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ